

学習目標

本校の音楽科の目標

音楽の幅広い活動を通して、表現の技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わい、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

第4学年の目標

- ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・ 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- ・ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学習方法

授業の流れ

- ・ 出欠確認
- ・ 本時のねらい、授業内容確認
- ・ 表現（練習）、鑑賞、創作等
- ・ 本時のまとめ

評価の観点・方法

観点① 関心・意欲・態度	音楽表現の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。				
観点② 感受や表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。				
観点③ 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。				
観点④ 鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習状況観察	◎	○	○	○
	提出物	◎	○		◎
	授業内小テスト・実技テスト	○	◎	◎	

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・発声の基本を身につけ、美しく豊かな合唱で音楽を作り上げよう。 ・コードネームを理解して、一定の和声進行に基づく音楽としてまとまりのある旋律を創作しよう。	・混声四部合唱曲 ・パッヘルベルのカノン他	
2 学 期	・箏の音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解して演奏しよう。 ・原語の味わいを感じ取り、豊かに表現しよう。 ・お互いをよく聴きながらアンサンブルをしよう ・古典派の音楽の特徴を感じ取って鑑賞しよう。	・箏二重奏 みだれ ・伊語・独語の歌曲 ・グループアンサンブル ・モーツァルトの作品、映画「アマデウス」	
3 学 期	・歌詞と旋律の関係を理解して外国語の合唱曲を歌おう。 ・オペラの魅力を感じ取って鑑賞をしよう。	・カンタータ140番より第7曲コラール ・ノルマ 他	

学習のアドバイス

- ・音楽は時間の芸術です。一瞬一瞬が勝負です。いつも集中してそして思い切って表現しましょう。また他人の表現を尊重しましょう。お互いに良いところを認めましょう。
- ・「演奏する」だけでなく「聴く」こともとても大切です。
- ・美しいものを美しいと感じられるようになってほしいと考えています。